

被災した子どもに接する周囲の方へ

災害を経験した子どもたちのところとからだには、いろいろな変化が起こることがあります。



〈子どもに現れやすいストレス反応〉

- ・赤ちゃんがえりをする
- ・甘えが強くなる
- ・わがままを言う、ぐずぐず言う
- ・反抗的になったり、乱暴になる
- ・災害体験を遊びとして繰り返す

〈対応方法〉

- ★ 一緒にいる時間を増やしましょう。
- ★ 子どもが話すことは、否定せずに聴いてあげましょう。
- ★ ただし、話したくないときには無理に聞きださないようにしましょう。
- ★ 抱きしめてあげる、背中をさするなど、スキンシップの機会を増やしましょう。
- ★ 災害体験を遊びとして繰り返すことは、本人が落ち着いていくプロセスです。無理にとめないようにしましょう。

※このようなからだやこころの変化は、正常な反応です。

周囲の大人が落ち着いて受け止めることで、ほとんどの場合は時間とともに回復していきます。

☎ 相談先

○熊本県精神保健福祉センター 096-386-1166

相談時間 9:00~16:00（土日、祝日、年末年始を除く）

《お住まいの地域に応じてご相談ください》

○熊本県中央児童相談所 096-381-4451 【県央・県北地域】

○熊本県八代児童相談所 0965-32-4426 【県南地域】

相談時間 8:30~17:15（土日、祝日、年末年始を除く）



©2010 熊本県くまモン

*内閣府「ほっと安心手帳」を基に熊本県精神保健福祉センターが作成＜平成28年4月＞